

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10103060005

事務事業名	里山保全事業		類似事業グループ	18.啓発
事業期間	平成13年度 ~	担当部署	土木部里山みどり課	
総合計画体系	(施策目標) 自然空間と生態系を守る			
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	枚方市里山保全基本計画
------	-------------

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
------	---

目的(何のために)	第二京阪道路以東の東部地域に存する里山を市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、市民、地権者等、行政が協働で里山保全活動の取り組みを行う。
-----------	---

対象(誰・何を対象に)	市民
-------------	----

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穂谷森づくり委員会、津田地区森づくり委員会の開催</li> <li>・里山保全活動団体との意見交換会の開催</li> <li>・府が実施する森林整備関係事業の調整</li> <li>・普及啓発、情報発信</li> </ul>
------	--

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪府森林整備事業、治山事業
--------------------	----------------

事業の必要性	第二京阪道路以東の東部地域に存する里山が市民に安全と豊かな自然環境を提供していることをさらに周知することが必要であるため、里山についての普及・啓発事業及び情報発信を実施、拡充していくべきである。
--------	---

コスト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.84人	6,720千円	1.0人	7,906千円	0.8人	6,350千円	
再任用職員	0.00人	0千円	0.0人	0千円	0.1人	387千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		6,720千円	7,906千円	6,738千円			
直接経費(B)		624千円	17千円	115千円			
総事業費(A+B)		7,344千円	7,923千円	6,853千円			

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
府支出金	0千円	0千円	239千円				
受益者負担(使用料等)	0千円	0千円	0千円				
その他	0千円	0千円	0千円				
一般財源	7,344千円	7,923千円	6,614千円				

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	里山ウォーキングポスターカラーコピー代(印刷製本費)	2千円
	消耗品費	15千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10103060005

事務事業名	里山保全事業	類似事業グループ	18.啓発
事業開始年度	平成13年度 ~	担当部署	土木部里山みどり課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 里山保全活動団体の活動日数	日	1,434	1,689	1,775
	② 森づくり委員会の開催回数	回	4	2	4
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷活動日数	円	5,121	4,691	3,727
	② 総事業費÷開催回数	円	1,836,000	3,961,500	1,653,500
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	<p>里山は、土砂流出防止や洪水調整等の機能を発揮し、市民に安全と豊かな自然環境を提供している。里山が持つ機能を多くの市民に周知し、それぞれの生活の中で里山との関わりを見つけ里山保全活動への参加を目標とする。具体的には、里山を身近なものに感じられるよう、里山保全に関するイベントや広報活動、里山保全活動団体の活動状況や参加方法等について情報発信を行う。また、地権者等に対しては、里山保全についての意識啓発を行うことにより、活動場所の提供などの理解を得て、取り組みの継続を図っていく。</p>				
成果目標達成状況	里山保全活動団体は市内に6団体あり、活動日数は、年々増加していることから目標は達成している。			目標達成度	目標を上回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	特になし				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへの関連記事の掲載のほか、「東部の緑と里散策マップ」を活用した啓発事業を実施している(平成25年度に関しては、台風18号の被害により、里山ウォーキングの開催を中止)。				
市民満足度	平成25年度施策評価に係る施策アンケートの結果は、本事業を含む施策については、重要度が高く、満足も高い「A」評価である。市民向けに作成した「東部の緑と里散策マップ」も配布数が多く、市民(特に都市部)の里山に関する関心度が高くなっている。				
特記事項	<p>枚方市里山保全基本計画(平成18年5月策定)に基づく里山の利活用が十分ではなく、氷室地域まちづくり構想による施策プログラムが未達成である。</p> <p>里山を保全しなければならないという意識は都市部で強いが、里山地区住民での関心は決して高くなく、温度差が問題である。また、東部地域の里山4地区(津田、穂谷、尊延寺、杉)は里山への意識が違い、考えや思いに差がある。加えて、近年の大雨により、里山の各地で崩壊等の被害があり、保全活動等を行えない状態が続いている。さらに、今後の保全活動のため、新たな里山道等の整備が必要であるが、予算取得に至っていない。以上の懸案事項を解決するため、今後の里山保全基本計画の改定等で、方向性、具体的施策を見出して、事業を進めていかねばならない。</p>				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	本市東部地域に存する里山を、市民全体の貴重な財産として保全・継承していくため、市民・地権者等、行政が一体となり、さらなる活動の推進を図っていく。
一次評価結果	・主体的事業でなければ内容を根本的に見直しては。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10203130019

事務事業名	駐車場案内システム維持管理業務	類似事業グループ	4.施設等運営(指定管理除く)
事業期間	平成10年度 ~	担当部署	土木部交通対策課
総合計画体系	(施策目標) 13:交通の流れを円滑にする		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	決裁(「枚方市駐車場案内システムに係る整備事業に関する協定の締結について」)
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部委託 )
目的(何のために)	本事業は、「枚方市めいわく駐車防止に関する条例」に伴い、①枚方市駅前(駐車防止重点地域)における交通指導員による啓発活動の実施と、②市営駐車場(岡東町自動車駐車場)の運営と、③枚方市駅周辺コミュニティパーキング共通駐車券システムの運用(以下、関連3事業という。)と連携して取り組むものであり、市駅周辺の交通混雑を招かないよう、ドライバーに的確な駐車場の満空情報及び交通安全啓発の交通情報を提供する。
対象(誰・何を対象に)	枚方市駅周辺に駐車を希望するドライバー
事業内容	本事業は、市駅周辺の道路に設置された案内表示板等により、既存駐車場の効率的な利用を促進し、路上違反駐車や駐車場探しのうろつき交通・入庫待ち車両を無くすことにより、円滑な交通の流れを確保すること。また、所轄警察署との連携等による交通安全啓発の情報掲示を行い、広く市民に交通事故防止の啓発を行うものである。なお、案内板等の道路に設置されている機器は、府道にも設置されており、府と市が各々維持管理を行い、駐車場案内システムを運用している。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	本事業は、関連3事業と連携して、条例の目的を達成していくよう取り組んでいるものであり、今後も駐車場利用者等の意向把握に努め、事業を継続する必要がある。

コスト												
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算				
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費					
正職員	0.2	人	1,600	千円	0.2	人	1,581	千円	0.2	人	1,588	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			1,600	千円			1,581	千円			1,588	千円
直接経費(B)			4,250	千円			4,137	千円			4,137	千円
総事業費(A+B)			5,850	千円			5,718	千円			5,725	千円

財源内訳								
		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算		
国庫支出金			千円				千円	
府支出金			千円				千円	
受益者負担(使用料等)			千円				千円	
その他			千円				千円	
一般財源		5,850	千円		5,718	千円	5,725	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	委託費	1,869 千円
	通信費、光熱費	2,268 千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10203130019

事務事業名	駐車場案内システム維持管理業務	類似事業グループ	4.施設等運営(指定管理除く)
事業開始年度	平成10年度 ~	担当部署	土木部交通対策課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① めいわく駐車指導啓発件数(自動車、自動二輪車)	件	23,033	16,728	16,000
	② 自動車駐車場一時利用台数(岡東町、自動二輪車含む)	台	169,129	169,817	170,000
	③ 共通駐車券利用枚数	枚	152,733	169,346	170,000
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	条例に伴う関連3事業と連携して本事業を運用し、条例の目的(めいわく駐車を防止することにより、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供されることを確保し、もって市民が安全で快適に生活できる環境の保持及び向上に資する)を達成する。				
成果目標 達成状況	めいわく駐車指導啓発件数が減少する中、市営岡東町自動車駐車場の利用台数及び共通駐車券利用枚数が増加していることから、本システムが有効に利用されているものと考え。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	近隣では、京都市、奈良市、堺市において、駐車場案内システムが運用されている。しかし、コミュニティパーキングという大規模な駐車場をシェアするシステムは少なく、また、民間駐車場管理者の積極的な協力と負担のもと共通駐車券システムと合わせて運営している事例はさらに少ない。				
事業のPR	市のホームページ、共通駐車権システムのパンフレットの配布				
市民満足度	本事業による駐車場利用者の利用実態を把握するため、平成22年12月に「枚方市駐車場案内システムに関する聞き取り調査」を実施した。その結果から、駐車場利用者のシステムの認知度(79%)と、システムを入庫判断に利用している人の割合(78%)が、非常に高いことから本システムの案内情報が十分活用されていることがわかる。				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	市駅周辺の駐車場や共通駐車券の利用状況、めいわく駐車の状況を継続的に観測するとともに、大阪府及び枚方警察署とシステムの運用に関して定期的に見直しを行う。 コミュニティパーキング共通駐車券システム事業に参画の店舗・駐車場からの意見や要望の聴取等に取り組む。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナビの普及及び民間駐車場増の現状を踏まえて見直しを。</li> <li>本事業の効果検証の必要性あり。</li> <li>本事業の当初の目的はすでに遂行されており、今後は当事業の継続性の有無をしっかりと検討する必要がある。</li> </ul>	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	廃止(終期設定無)	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム運用開始時に比べ、枚方市駅周辺では民間駐車場が増加し、カーナビゲーションや携帯端末により詳細情報の取得が容易であり、システムの必要性が低下してきているものと考え。</li> <li>平成22年度に実施した利用者アンケート調査では、システム参加駐車場利用者への聞き取りであり、サンプルの片寄りの可能性があるため、再度、市民全体を対象として利用状況等の調査を実施し、必要性を検証したなかで、廃止も含めて検討を進める。</li> <li>案内板では交通安全啓発情報の掲示も行っており、その必要性についても、上記利用状況等調査で、効果検証を行う。</li> </ul>